Form No. 3412-998 Rev A

走行ペダル改良キット

Groundsmaster® 360 マルチパーパスマシンシリアル番号 315000001 316999999用

モデル番号136-4450

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	スラストワッシャ スリーブスペーサ (長) スリーブスペーサ (小) ベアリング	1 1 1 2	走行ロッドを取り付けます。
2	走行ロッド ジャムナット3/8 インチ ロッド端部のベアリング リンクプレート ゴム製マウント プラスチック製マウント	1 1 1 1 2 2	走行ロッドを取り付けます。
3	必要なパーツはありません。	–	走行ロッドを調整します。
4	必要なパーツはありません。	–	走行ドライブのニュートラル調整を行います。

注 このキットは、ニュートラルからの走行動作を改善するものです。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3412-998 A

1

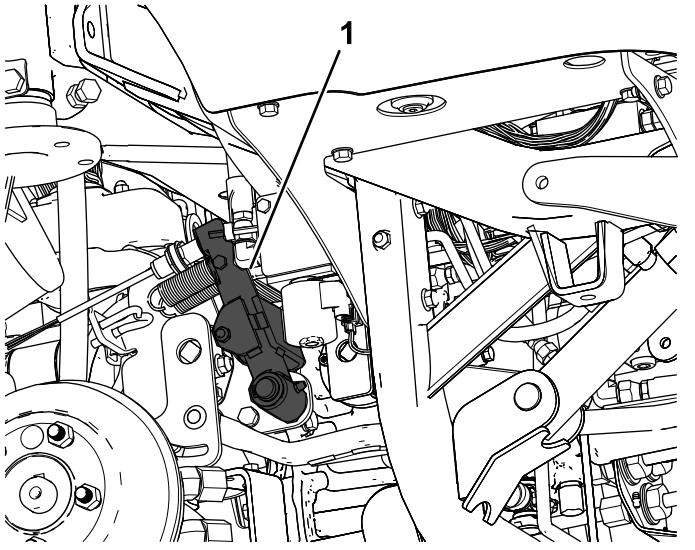
走行ロッドを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	スラストワッシャ
1	スリーブスペーサ (長)
1	スリーブスペーサ (小)
2	ベアリング

手順

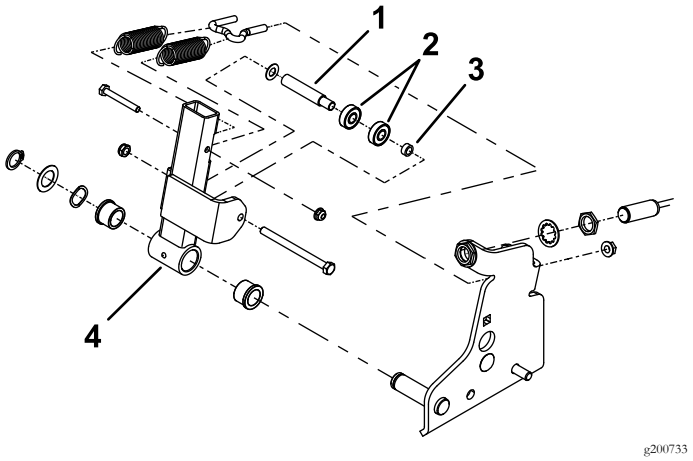
1. 平らな場所に駐車し、エンジンを停止させ、駐車ブレーキを掛けてキーを抜き取る。
2. 右側の後輪用のラグナットをゆるめる。
3. 機体の右側をジャッキで床から浮かせてジャッキスタンドで支える。
4. 右後ろのタイヤを取り外す。これで取り付けが容易になる。
5. 既存のニュートラルアームアセンブリを取り外す図 1 と 図 2。



g200732

図 1

1. ニュートラルアームアセンブリ

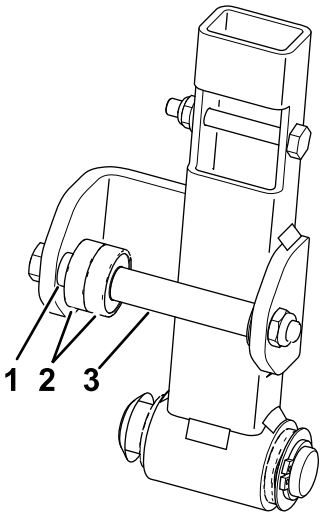


g200733

図 2

1. スリーブスペーサ (長)
2. ベアリング
3. スリーブスペーサ (小)
4. ニュートラルアームアセンブリ

6. ニュートラルアームから既存のベアリングとスペーサを外す図 3。
7. 新しいベアリングとスペーサを取り付ける図 3。



g200731

図 3

1. スリーブスペーサ (小)
2. ベアリング
3. スリーブスペーサ (長)

8. ニュートラルアームアセンブリを機体に取り付ける図 2。

2

走行ロッドを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	走行ロッド
1	ジャムナット3/8 インチ
1	ロッド端部のベアリング
1	リンクプレート
2	ゴム製マウント
2	プラスチック製マウント

手順

1. 走行レバーのアームを外す図 4。

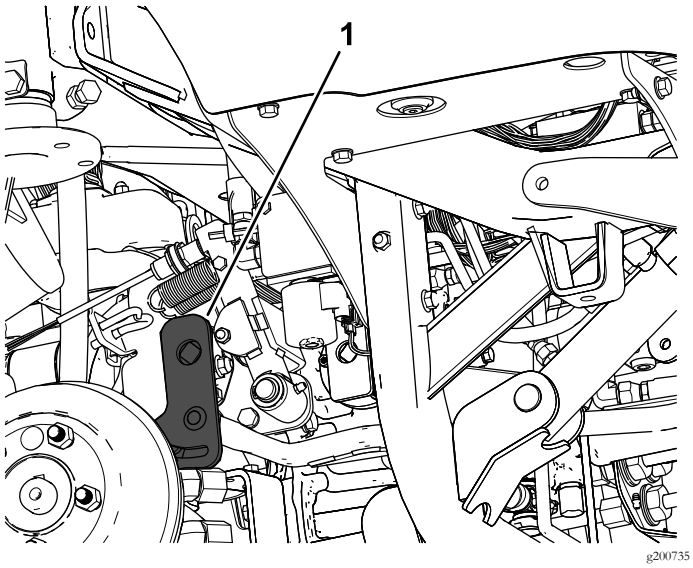


図 4

1. 走行レバーのアーム

2. 走行レバーのアームと前リンクから既存の走行ロッドを取り外す図 5。

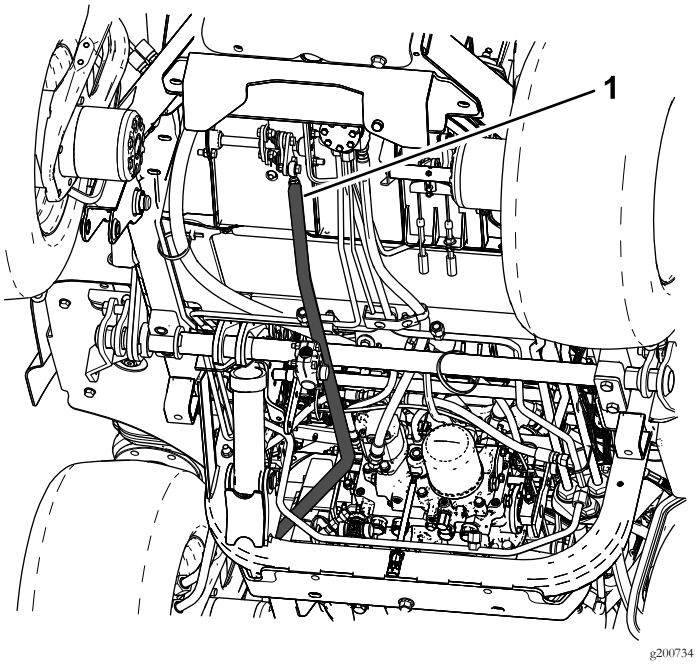


図 5

1. 走行ロッド

3. 走行ロッドの端部に、ベアリングとジャムナットを取り付ける図 6。
4. リンクプレートと、ゴム製またはプラスチック製のマウントを取り付ける図 6。

   注 ゴム製またはプラスチック製のマウントのうち、好ましい運転感覚のものを取り付けてください。キャブ付きのマシンではゴム製のマウントの使用をお奨めします。ゴム製マウントの方がキャブ内が静かになります図 6。
5. 走行レバーのアームと前リンクに新しい走行ロッドを取り付ける図 5と図 6。

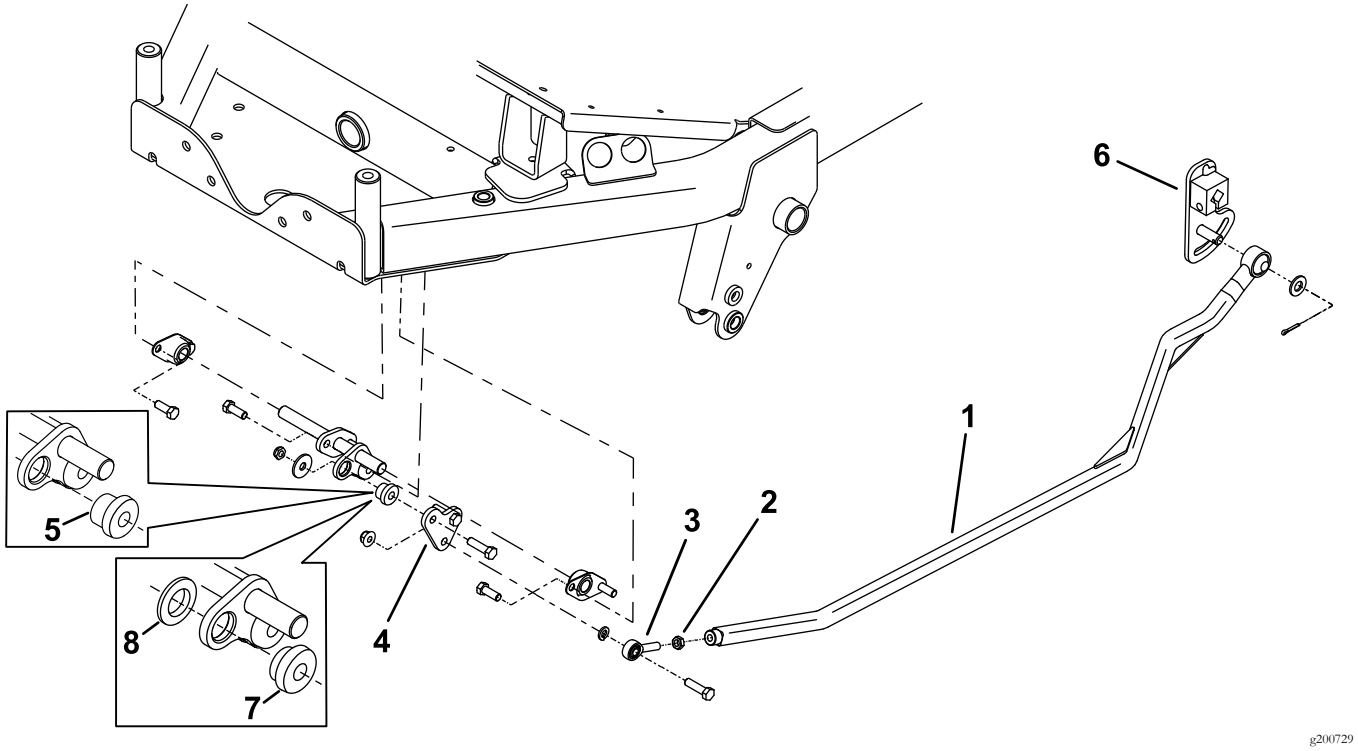


図 6

1. 走行ロッド
2. ジャムナット
3. ロッド端部のベアリング
4. リンクプレート
5. ゴム製マウント
6. 走行レバーのアーム
7. プラスチック製マウント
8. プラスチック製ワッシャは、プラスチック製マウントにのみ使用

3

走行ロッドの調整

必要なパーツはありません。

手順

1. 図 7 に示すように、スプリングの張力を調整する。
2. 図 7 に示すように、ニュートラルスイッチを調整する。

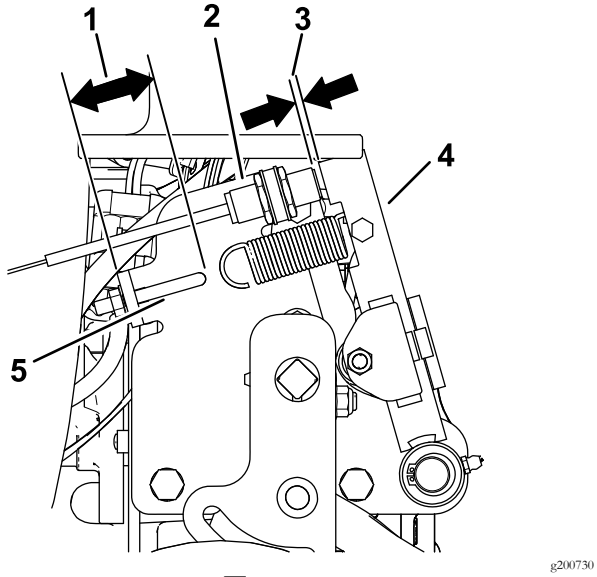


図 7

1. 41mm
2. ニュートラルスイッチ
3. 2.83.5mm
4. ニュートラルアームアセンブリ
5. スプリングのフック

3. 走行ペダルをニュートラル一にして、ロッド端部のベアリングを回転させて図 8に示す寸法になるように位置を調整する。

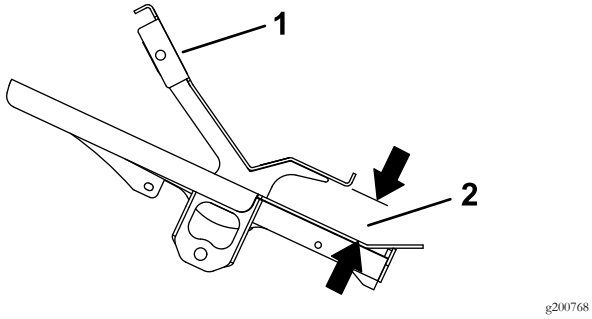


図 8
側面図

1. 走行ペダル
2. 4548mm

4. 右後ろのタイヤを取り付ける。

4

走行ドライブのニュートラル調整

必要なパーツはありません。

手順

注 本機が体が平らな床面にあるときに、走行ペダルから足をはなしても機体が動きだすようでしたら調整が必要です。

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、刈り込みデッキを床面まで降下させ、エンジンを停止する。
2. 機体の後部をジャッキアップして両方の後輪を床から浮かす。落下事故防止のために、ジャッキスタンドや支持ブロックなどを使って機体をサポートする。

   注 4 WD モデルでは前輪も同様に浮かせる必要がありますジャッキスタンドで支えてください

⚠ 警告

この調整はエンジンを作動させて行う必要がある。危険を伴う作業であるから、

高温部分や回転部、可動部に顔や手足を近づけぬよう十分注意すること。

3. エンジンを始動し、スロットルを低速位置にセットし、後タイヤが回転する方向を確認する。

   重要 走行ペダルがニュートラル位置にあるを必ず確認してください。

   - 左後タイヤが回転している場合には、左側トランスミッション・コントロールロッドのジャムナットをゆるめる図 9。

     注 コントロールロッドの前端部のねじは左ねじです。ロッドの後端部トランスミッションに接続されている方は、右ねじです。

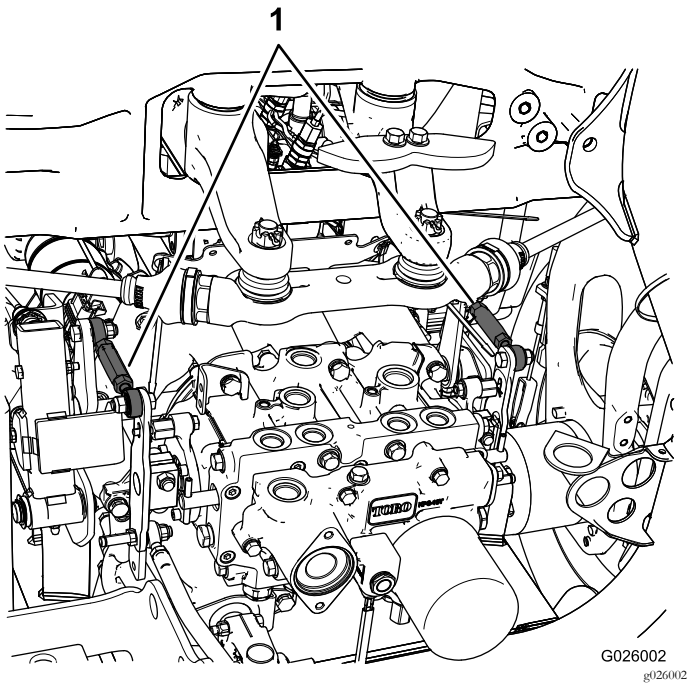


図 9

1. トランスミッション・コントロールロッド

- 左後輪が逆転している場合は、ロッドをゆっくりと左に回し前から見て、左後輪の回転が止まるかあるいは最小限になるまでロッドを長くしていく。
- 左後タイヤが前進回転している場合には、回転が止まるところまで、ロッドをゆっくり右回転前から見てさせるロッドを短くする。

4. スロットルをFAST位置とする。タイヤが回転しない、あるいはごくわずかだけバック回転していることを確認する。必要に応じて調整する。
5. ジャムナットを締めつける。
6. 右後タイヤについても同じ作業を行う調整は右側トランスミッション・コントロールロッドで行う。
7. エンジンを止め、ジャッキスタンドを外し、機体を床に下ろす。
8. 試験運転で調整クリーピングがなくなっていることを確認する。

メモ



Count on it.